

2019年度 生活行為向上マネジメント研修会開催案内

生活行為向上マネジメント研修会開催案内

- A. 2019年9月29日(日) 9:10~12:50 MTDLP事例検討会
- ※ 本研修は生活行為向上マネジメント研修(概論・演習)修了者が対象です
 - ※ 現職者共通研修③と同時開催
 - ※ 本研修終了後に生活行為向上マネジメント研修修了者となります
 - ※ 本研修は現職者共通研修「事例検討」「事例報告」と兼ねることができます

<各開催の詳細>

A. MTDLP事例検討会

日時： 2019年9月29日(日) 9:10~12:50

会場： 東北メディカル学院

〒039-1522 青森県三戸郡五戸町字苗代沢 3-638

アクセス詳細は東北メディカル学院のホームページでご確認ください。

<https://www.rinken.ac.jp/>

9:10~9:30 受付・開会

9:30~11:00 「MTDLP事例検討」・「MTDLP事例報告」

11:10~12:40 「MTDLP事例検討」・「MTDLP事例報告」

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 金谷 圭子 氏

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 今井 寛人 氏

12:40~12:50 閉会・受講確認

上記研修会の申込み締め切りは、抄録の確認および資料印刷の都合上、

9月18日(火)18:00までです。申込み方法は2ページを参照してください。

「MTDLP事例検討」：「MTDLP事例報告」受講者が提出する事例のもと実施される症例検討を聴講する。現職者共通研修「事例検討」に読み替えます

「MTDLP事例報告」：MTDLPを使用した事例を提出し、発表する。

現職者共通研修「事例検討」に読み替えます。

※事例を報告したものは修了後に生活行為向上マネジメント研修修了者となります

※事前の抄録提出および当日のスライドショーによる発表が必要です

※事例の提出方法は3ページを必ず参照してください

※報告する症例については必ず同意を得てください。

※抄録の締め切りは9月13日(金)です。期日までに担当まで抄録を送付して下さい。

「事例報告」では、症例発表を実施するため、受講者の上限を定めております。

先着順で定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます。

参加申し込みについて

1. 申し込み方法

下記のメールアドレスに必要事項を記入の上、送信してください。

<送信先>

青森県作業療法士会教育部 小枝周平 aot_kyoiku@hirosaki-u.ac.jp

<送信内容>

1) 件名：「MTDLP事例検討会」と記載して下さい。

2) 本文：①参加を希望する研修会の記号（A）

②テーマ名

※受講するすべての講義名を記載してください

※「事例報告」の場合はMTDLP事例かどうか記載して下さい

③所属

④氏名

⑤日本作業療法士協会会員番号

※青森県士会の会員番号ではありません

※OT協会未加入者は受講できません。入会確認のために研修受講カードを確認します。当日は研修受講カードを必ずご持参ください。OT協会加入を申請中の場合は、入会申込済みを証明するもの（払込受領証など）を研修会当日、受付に提示してください。

2. 参加費

現職者共通研修会：1テーマあたり1,000円（当日会場で徴収します）

3. 締め切り

A（MTDLP事例検討会）：2019年9月18日（火）18:00まで

※申込締切日までに申込者数が5名未満の場合は中止となります。中止の場合は、各研修会開催の3日前までに研修受講の際にご連絡いただいたメールに返信する形でお知らせいたします。

（受信設定などは必ず解除しておいてください）

4. 受講に必要なもの

生涯教育手帳、OT協会会員証、研修受講カード、青森県士会会員証

5. 公文書

出張依頼に関する公文書が必要な方は、申込み時に「公文書郵送希望」と記載してください。なお、郵送期間を考慮し、研修会開催2週間前までに申し込みください。

6. 問い合わせ先

弘前大学大学院保健学研究科 内 教育部担当：小枝 周平

TEL：0172-39-5990 メールアドレス：aot_kyoiku@hirosaki-u.ac.jp

「MTDLP 事例検討」および「MTDLP 事例報告」参加要項

「MTDLP 事例検討」「MTDLP 事例報告」では報告書の提出と発表スライドによる口述発表となります。「MTDLP 事例報告」受講者は、事例の抄録、発表用スライド（ファイル）を必ず持参してください。「MTDLP 事例報告」は発表を行なわないと受講しても修了とはなりませんのでご注意ください。

1. 事例報告書の作成

事前に報告書およびシート一式を作成し、9月13日（金）までに問い合わせ先へメールで提出してください。

報告書の書き方は、日本作業療法士協会ホームページ会員向け情報の「事例報告登録のページ」に掲載されている「事例報告書作成の手引き（最新版）」の2) 事例本文の作成を参考にしてください。小見出し及び字数は、1. 報告の目的（200字以内）、2. 事例紹介（400字以内）、3. 作業療法評価（600字以内）、4. 介入の基本方針（200字以内）、5. 作業療法実施計画（600字以内）、6. 介入経過（800字以内）、7. 結果（500字以内）、8. 考察（700字以内）とし、OT協会と同様です。以下の要項で作成してください。

- 1) 発表に関して OT協会HP内の「同意説明文書 生活行為向上マネジメント事例」に従い説明した後、発表する症例の同意を書面（「同意書 一般事例・生活行為向上マネジメント事例共通」）で必ず得てください。
- 2) A4版にMS明朝 10.5P、英数字は半角とし、40字×25行で作成して下さい。
- 3) 演題名、所属及び演者名、本文の順に記載し、それぞれ一行あけて下さい。
- 4) 演題名のみを文字サイズ12ポイントとして下さい。

シート一式とは、①一般情報シート②生活行為向上マネジメントシート（事例報告用）③生活行為課題分析シート④社会資源情報シートです。これらはOT協会ホームページからダウンロード・印刷してご使用下さい

2. 発表方法

当日は発表データをUSBメモリー等の記録媒体でご持参ください。順番になりましたら演台にて記録媒体を挿入し、発表者がPCを操作し発表を始めてください。

発表時間は、発表10分・質疑応答20分となります（時間厳守でお願いします）。

発表形式は全て口述発表となります。発表は、PCとMicrosoft Power Point（Windows版2010まで）を使用したデジタルプレゼンテーションです。

3. 発表スライドの作成方法

報告書の内容に基づき、発表用スライドを作成してください。発表用スライド枚数は自由ですが、発表時間10分以内で説明できる枚数にしてください。

動画（アニメーション機能は除く）、音声の使用はできません。

また、発表スライドは、必ず事前に最新のウイルスチェックを行ってください。

文字化け、画面レイアウトのバランス異常を防ぐ為、使用するフォントはPower Pointに標準設定されているフォントを使用してください。

（下記のフォントを推奨します。）

日本語：MS明朝・MSゴシック

英語：Arial・Century・Times New Roman